



115th
ANNIVERSARY
TOHOKU UNIVERSITY

東北大学文学部創立百周年
阿部次郎記念館新規資料公開記念シンポジウム

名著『三太郎の日記』の著者として知られ、東北帝国大学法文学部創立時から教授として勤めた哲学者・美学者の阿部次郎に光をあて、新出資料や最新の研究動向を踏まえて、その事蹟と人物像を捉え直します。



阿部次郎

研究の 新地平

2022
10.15 土
10:00~12:00

会場

東北大学 片平さくらホール◎オンライン

(会場参加者：定員70名＊申込先着順) 参加無料 | 要事前申込

報告

小嶋 翔 (吉野作造記念館主任研究員、東北大学史料館協力研究員)

戦時下・晩年の能楽研究
—1943年東北帝大能楽公演に寄せて

杉本欣久 (東北大学大学院文学研究科准教授)

『徳川時代の芸術と社会』と
古書画蒐集

◇コメンテーター

曾根原 理 (東北大学学術資源研究公開センター(史料館)助教)

田中祐介 (明治学院大学専任講師、
国立歴史民俗博物館客員准教授)

申込締切
10/12
(水)

参加申込方法

● 参加希望の方はQRコードからご登録下さい。

会場参加



オンライン参加



● E-mail もしくは郵送での参加登録を希望される方は、氏名・連絡先(住所のないメールアドレス)を明記の上で、下記の問い合わせ先までお申し込み下さい。

問い合わせ先

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学大学院文学研究科
仁平政人研究室

E-mail: masato.nihei.d6@tohoku.ac.jp

文学部創立百周年



東北大学大学院文学研究科・文学部
東北大学文学部創立百周年記念事業実行委員会

『合本 三太郎の日記』扉絵
阿部次郎著 | 大正7年6月 | 岩波書店(初版) [阿部次郎記念館所蔵]

阿部次郎研究の新地平



報告

2022.10.15^土
10:00~12:00

戦時下・晩年の能楽研究

—1943年東北帝大能楽公演に寄せて

小嶋 翔 (吉野作造記念館主任研究員、東北大学史料館協力研究員)

昭和10年代半ばの阿部次郎は、おそらくはやや唐突に、能楽に強い関心を寄せました。その背景には、日本学術振興会で日本古典英訳の事業（万葉集、謡曲）に携わったこともありますが、阿部次郎自身の問題関心は、主著『徳川時代の芸術と社会』（1931）などに見られる日本文化研究の延長上にあり、またそこには戦時下における教養主義者としての思想的苦心がありました。この報告では、1943年（昭和18）に阿部次郎の企画で行われた東北帝国大学能楽公演を切り口に、晩年の活動と思想遍歴について考えます。

Profile

1984年生まれ。2014年東北大学大学院博士後期課程修了、博士（文学）。現在、吉野作造記念館主任研究員、東北大学史料館協力研究員。専門は日本近代思想史。



鈴木春信『雪中相合傘』

喜多川歌麿『浪華屋おきた』

『徳川時代の芸術と社会』と古書画蒐集

杉本欣久 (東北大学大学院文学研究科准教授)

昭和6年（1931）に刊行されました『徳川時代の芸術と社会』は、江戸時代の浮世絵芸術などが「恋愛」をどのように扱ったか、「恋愛文化」の向上にいかに関与したかが中心的テーマとして論じられています。その関心は実は阿部の私生活における葛藤とも深く関係し、その前後、連日のように古書画や浮世絵が購入されている事実にも目を向ける必要があります。そこで本報告では、阿部の蒐集と同書執筆がどのように関係づけられるのか、残された日記を中心に探っていきたいと思います。

Profile

1973年生まれ。1998年早稲田大学大学院修士課程修了、博士（文学）。現在、東北大学大学院文学研究科准教授。専門は日本近世美術史・鑑定学。

◇コメンテーター Profile

曾根原理 (東北大学学術資源研究公開センター(史料館)助教)

1961年生まれ。1993年東北大学大学院博士後期課程修了、博士（文学）。現在、東北大学学術資源研究公開センター(史料館)助教。専門は日本近世思想史・アーカイブズ学。

田中祐介 (明治学院大学専任講師、国立歴史民俗博物館客員准教授)

1977年生まれ。2009年国際基督教大学大学院博士後期課程修了、学術博士。現在、明治学院大学専任講師、国立歴史民俗博物館客員准教授。専門は日本近代文学・思想史。

会場 東北大学片平さくらホール



参加無料 | 要事前申込

(会場参加者：定員70名*申込先着順)

関連企画

阿部次郎記念館新規資料及び
法文学部開設関係資料公開展示期間 2022年
9月29日(木)~
12月23日(金)会場 東北大学史料館
2階展示室